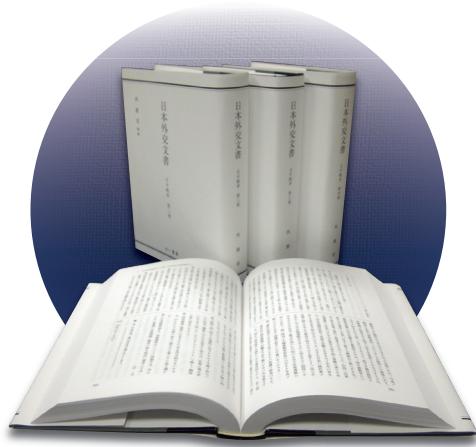


2011年5月上旬
刊行予定



膨大な外務省所蔵記録から
丹念に集められた関係史料
当時の緊張感が
いま鮮烈によみがえる

外務省により編纂、刊行されてきた『日本外交文書』。
明治・大正期の刊行が終わり、昭和期では満州事変、
海軍軍縮問題などの特集も組まれました。今回の日中
戦争では本書の重要性に鑑み、たくさんの方に本書を
利用していただくため小社で増刷し頒布致します。

日本外交文書

日中戦争

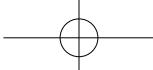
全4冊

定価 **36,750円**
(本体35,000円) ※分売不可

●A5判 上製 カバー 輸送箱入
●約3300頁(4冊合計)

ISBN 978-4-86445-000-3(全4冊セット)

発行元 六一書房



波多野澄雄

(筑波大学教授)

外務省は、「幣原外交」の時代から外交記録の編纂・公開という事業に熱心に取り組んで来た歴史がある。とくに、1936年からは、戦時を除き『日本外交文書』の編纂刊行を今日まで続け、その数は200冊を超えている。今回の特集巻「日中戦争」は、「満州事変」や「太平洋戦争」に続く特集巻として、なぜ日中戦争が日米戦争にいたったのか、それを外交面から考える多くの重要記録に充ち、内外に誇り得る充実した内容である。

推薦の言葉

戸部良一

(国際日本文化研究センター教授)

日中戦争はいかなる戦争だったのか。軍事的側面や占領地統治の実態が、この戦争の重要な部分を占めることは言うまでもない。それと同じく重要なのは、この戦争の外交的側面である。検討・策定された戦争終結構想の実体、繰り返された和平の試み、戦争長期化に伴う列国との関係悪化など、重要な局面に関わる外交記録を体系的に整理した『日本外交文書』のこの特集を活用して、実証的な日中戦争研究のさらなる進展が期待されよう。

本書の特徴

●日中戦争発生から太平洋戦争に至るまでの関係文書を収録

●日中二国間のみならず、日中戦争をめぐる第三国との関係を含めた様々な項目を設定

●原文を忠実に活字化し、文書番号や件名を付して項目ごと日付順に配列

●外務省に残存していない文書についても他機関所蔵史料からできる限り補填し収録

●巻末に全収録文書の索引を掲載



【第一冊】 一、日本の対処方針

1. 蘆溝橋事件の発生から全面戦争への拡大
2. 邦人引揚げ問題
3. トロウマン工作と「対手トセズ」声明の発出
4. 宇垣外相就任から第2次近衛内閣退陣まで
5. 平沼・阿部・米内三内閣期
6. 第2次近衛内閣の成立から太平洋戦争開戦まで

【第二冊】 二、汪兆銘工作と日華基本条約の締結

1. 汪兆銘の重慶離脱
2. 汪兆銘のハノイ脱出から訪日まで
3. 新中央政府樹立に向けた動静
4. 内約交渉と南京国民政府の成立
5. 日華基本条約の締結
6. 汪兆銘再訪日と枢軸諸国の汪政権承認

三、占領地域における諸問題

1. 一般問題
2. 中国海関接取問題
3. 興華院の設置
4. 経済問題

【第三冊】

1. 中国の連盟提訴と日中紛争報告書の総会採択
2. 九国条約関係国会議
3. 連盟規約第十六条適用問題と日本の連盟協力終止
4. 一般問題
5. ソ連邦の動向
6. ソ連邦の動向

四、国際連盟の動向と九国条約関係国会議

1. 一般問題
2. 英国との関係

五、事変をめぐる第三国との関係

1. 外交原則尊重に関する米国との諸声明
2. 日米通商航海条約廃棄通告
3. 野村・グルー会談
4. 有田・グルー会談
5. 英国の交渉再開要請
6. 日英公文交換と封鎖の解除

〒101-0052 東京都千代田区神田神保町2-2-22

TEL.03-5213-6161 FAX.03-5213-6160 E-mail info@book61.co.jp

×キリトリ線

日本外交文書 日中戦争 全4冊

定価 36,750円 (本体35,000円)
※分売不可 ISBN978-4-86445-000-3

セット

取扱書店

お名前

TEL ()

ご住所

ご注文書